

平成30年度主催事業「ひこさんジュニアキャンプ」

- 開催日 第1回 平成30年10月 6日(土)～10月 7日(日)
第2回 平成30年10月13日(土)～10月14日(日)
- 参加者 第1回 32名 第2回 42名
- 事業のねらい
 - (1) 英彦山の豊かな自然の中での集団生活や体験活動を通して、自然に親しむ心や体を育てる。
 - (2) 友達と一緒に遊んだり、協力したりする体験を通して、協調性や主体性を育む。
 - (3) 目標を設定し、それに向かってチャレンジする心の育成を図る。
- 活動の実際
『第1回10月6日～7日』

レクリエーション

まず、班の仲間と打ち解けるためのレクリエーションを行いました。いろいろな友だちと交流でき、班の友だちとも仲良くなることができていました。



キーホルダー作り

自分の力で木を切るところからスタート。切った木をやすりで丁寧に削り、好きな絵を描いて、オリジナルのキーホルダーを作ることが出来ました。



感想

- ・手作りのキーホルダー作りがたのしかったです。
- ・いっしょに作って友だちになれました。

カレー作り

みんなが楽しみにしていたカレー作り。米担当・カレー担当に分かれての作業。おいしいカレーを作るために、みんなで力を合わせる事が出来ました。



感想

- ・ぜんぶたのしかったけど、カレーライスづくりをいちばんがんばりました。
- ・カレー作りをできるようになったので、お家でも作ります。

テント設営

学生ボランティアの方の説明をよく聞き、班の友だちと協力してテント設営を行いました。多くのお子さんががんばりたいとっていただけあり、みんなテキパキと行動することができていました。



感想

- ・テント立てをがんばりました。
- ・友だちと一緒におねてたのしかったです。

英彦山体験活動：天狗からの挑戦状

天狗の伝説になぞらえて作った「天狗からの挑戦状」。班のみんなで協力して、暗号を解き明かすことができました。



感想

- てんぐとあえるように歩くのをがんばりました。
- てんぐとしゃしんをとれたたのしかったです。

『第2回10月13日～14日』

レクリエーション

初めて出会う友達と仲良くなるために行ったレクリエーション。初めは緊張していましたが、緊張も徐々にほぐれ、たくさんの笑顔が見られました。



英彦山体験活動：フォトラリー

写真を頼りに、英彦山を探検しました。英彦山の名所である奉幣殿・高住神社をめぐり、隠れていた天狗と写真を撮りました。





感想

- ・フォトラリーはつかれたけど、てんぐがおもしろかったです。
- ・てんぐがだれだったか知りたいです。・・・てんぐは『Oっしー』です！

カレー作り

フォトラリーの後はカレー作り。疲れを見せることなく、みんなで力を合わせ、おいしいカレーを作ることが出来ました。



感想

- ・たまねぎをきるときなみだがでそうになったけど、がんばりました。
- ・みんなと力をあわせてカレーができたのでうれしかったです。

テント設営

友だちと声を掛け合いながらスムーズにテント設営を行っていました。寝具の準備もばっちり！

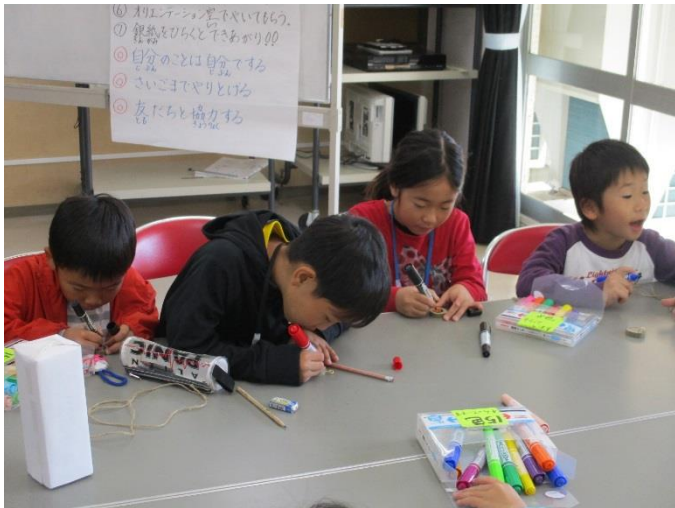


感想

- ・テントのはりかたがわからないところがあったけど、かんせいしてよかった。
- ・テントをはじめたてたけど、たてれた。かたづけもがんばりました。

キーホルダーづくり

木をやすりで丁寧に削り、好きな絵を描いて、オリジナルのキーホルダーを作ることが出来ました。完成したキーホルダーを友だちとうれしそうに見せあっていました



感想

- ・キーホルダー作りがたのしかった。
- ・キーホルダーをまた作ってみたいです。

ジャンボシャボン玉

大きなシャボン玉を作って遊びました。とても澄んだ青空の下で、大きいシャボン玉がいくつも飛ぶ様子はとてもきれいでした。



○全体をとおして

このキャンプでは、「自分のことは自分でやろう！」「みんなと仲良くしよう！」「友だちと力を合わせて活動しよう！」の3つの目標をもとに活動しました。

子どもたちは2日間の様々な体験活動を通して、自分から進んでしようとする意欲を持ち、友だちと協力することができました。また、子どもたちからは、「ふだんはお母さんにしてもらっているけど、キャンプでは自分で出来た。」「友だちと活動したらどんどんできることが多くなった。」などの感想が多く聞かれ、目標を達成することができました。これからも、英彦山の自然を生かしたプログラムをより多くの子どもに提供し、子どもたちの成長につなげていきたいと思ひます。